

「事務組織改革の現状と課題」

工学部・工学研究科総務課長

勝川忠迪

1. はじめに
2. 事務組織改革の背景と必要性
 - 定員削減による教育研究支援体制の量的弱体化

 - 旧態依然とした組織体系による教育研究支援体制の硬直化

 - 教育研究支援業務の専門化による教育研究支援組織の質的弱体化
3. 全学的な事務組織改革に向けた取り組み
 - (1) 教育研究組織の設置・改廃と事務組織の見直し再編成

 - (2) 全学の事務改善合理化委員会の活動状況等
4. 工学部・工学研究科の事務組織改革に向けた取り組み
 - (1) 「教室事務室の見直しに関する基本方針」の策定
(平成6年12月19日、一般職員問題検討委員会)

 - (2) 「工学研究科一般職員組織改革のガイドライン(その1)」の策定
(平成10年10月1日、教育研究支援体制検討委員会)

 - (3) 「工学部事務業務高度化・簡素化WG」の設置
(平成10年1・0月21日)

 - (4) 「工学研究科事務業務の見直し検討WG」の設置
(平成12年10月1日、工学研究科長了解)
5. まとめ